



体型の異常

# 犬と猫の肥満



世界中で、ペット猫の最大 63 %、ペット犬の 59.3 % が過体重または肥満であると推測されています。<sup>1</sup> この状態は、変形性関節症や猫の糖尿病などの多くの疾患に関連しています。<sup>2,3</sup> 過体重または肥満のペットは、そうでないペットほど長生きしないことも研究により示されています。<sup>4-6</sup>

肥満が重大な健康問題を起こすにも関わらず、ペットの飼い主はペットの体重が問題であると認識していないとの調査結果があります。<sup>1,7,8</sup> 猫や犬の肥満管理では、栄養の役割についてのよりよい理解とコミュニケーションがペットの長生きに結び付きます。<sup>9</sup>

キーメッセージ

- ペットの過体重に取り組むための最初の段階は、個々の犬や猫の理想的な体型を認識することです。理想的な体型を決定する方法は、以下の通りです。
  - 体重測定。ただし、体重は健康な体型の一面にすぎません。体重では体の組成について知ることはできません（脂肪量と除脂肪量）。体重が同じでも、加齢とともに脂肪量は増加し、除脂肪量が減少することがあります。
  - Purinaの9段階のボディコンディションスコア（BCS）システム：
    - 猫の理想的な BCS は 5 で、犬は 4~5 です。
    - ペットの BCS が 7 を超えると肥満と見なされます。
    - 飼い主はペットの状態を過小評価しがちですが、<sup>10</sup> 研究によれば、飼い主が BCS スコア表を見ると、BCS を正しく認識できるようになります。<sup>11,12</sup>
  - 4段階のマッスルコンディションスコア（MCS）システムで筋肉量を評価すると、過体重のペットでも起こりうる除脂肪体重の減少を理解するのに役立ちます。
- 食事療法は、理想的な体型の実現と維持のために、体重管理の基礎となるものです。
  - 目標体重に対する維持エネルギー必要量（MER）を計算して、減量に必要なペットの1日のカロリー許容量を算出し、その許容量を 25~40 % 減らします。
  - カロリー制限は、猫では1週間に体重の 0.5~1 %、犬では 1~2 %の緩やかな体重減少を目指します。<sup>13</sup> MER には個体差があり、平均値の 50 % も異なることがあり、望ましい体重減少率を達成するためには、摂取量を調整する必要がある場合があります。急速な体重減少は理想体重に達した後にリバウンドする可能性があります。

(次のページに続く)

## キーマッセージ (続き)

- 1日のカロリー許容量に基づき詳細な減量計画を作成します。<sup>14</sup>
  - 飼い主が与えるべき食事を正確に把握します。
    - カロリーに対する必須栄養素の比率を高め、必須栄養素の摂取を維持しながらカロリーを制限する食事を与えます。
    - 主要な栄養素はタンパク質と食物繊維です。
    - 大豆イソフラボンやカルニチンも有効です。
    - 自家製の食餌を選択される場合は、獣医栄養士にご相談ください。公開されているレシピの多くは、栄養的に適切ではなく、健康上の問題を引き起こす可能性があります。<sup>15</sup>
  - 確実に体重管理を成功させるには、フードの計量が有効です。グラムで計量するのが最も正確ですが、計量カップも有用です。
  - おやつなどを1日の総摂取カロリーに加味します。総カロリーの10%未満に制限しましょう。
  - ペットがカロリー制限されているとき、飼い主は食べ物を求める行動を管理できるようにします。食品に関連しない活動や、食品の知育玩具の使用に関する提案も含めます。
- 4週間ごとに体重、BCS、MCSを管理し、必要に応じて摂取カロリーを調整します。<sup>14</sup>
  - ペットの体重が減るにつれてMERが変化することがあります。
  - 目標体型を達成した後も、ペットのエネルギー必要量は減量前より少なくなります。カロリー許容量を10%増やすことから始め、体重を維持するために必要に応じて調節します。
- 飼い主の信念や行動は、ペットの肥満に対処する時期、あるいは対処するかどうかに影響します。<sup>9,16</sup>
  - ペットと飼い主の関係に注意を払います。
  - 動物用栄養学によりペットの生活の質が向上し、疾患を予防できることを強調します。

(次のページに続く)

## 参考文献

1. Larsen, J. A., & Villaverde, C. (2016). Scope of the problem and perception by owners and veterinarians. *Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice*, 46(5), 761–772.
2. German, A. J., Ryan, V. H., German, A. C., Wood, I. S., & Trayhurn, P. (2010). Obesity, its associated disorders and the role of inflammatory adipokines in companion animals. *Veterinary Journal*, 185(1), 4–9.
3. Laflamme, D. P. (2012). Obesity in dogs and cats: What is wrong with being fat? *Journal of Animal Science*, 90, 1653–1662.
4. Penell, J. C., Morgan, D. M., Watson, P., Carmichael, S., & Adams, V. J. (2019). Body weight at 10 years of age and change in body composition between 8 and 10 years of age were related to survival in a longitudinal study of 39 Labrador retriever dogs. *Acta Veterinaria Scandinavica*, 61(1), 42.
5. Salt, C., Morris, P. J., Wilson, D., Lund, E. M., & German, A. J. (2019). Association between life span and body condition in neutered client-owned dogs. *Journal of Veterinary Internal Medicine*, 33(1), 89–99.
6. Teng, K. T., McGreevy, P. D., Toribio, J. L., Raubenheimer, D., Kendall, K., & Dhand, N. K. (2018). Strong associations of nine-point body condition scoring with survival and lifespan in cats. *Journal of Feline Medicine and Surgery*, 20(12), 1110–1118.
7. Eastland-Jones, R. C., German, A. J., Holden, S. L., Biourge, V., & Pickavance, L. C. (2014). Owner misperception of canine body condition persists despite use of a body condition score chart. *Journal of Nutritional Science*, 3, e45.
8. Singh, R., Laflamme, D. P., & Sidebottom-Nielsen, M. (2002). Owner perceptions of canine body condition score. *Journal of Veterinary Internal Medicine*, 16, 362.
9. Churchill, J., & Ward, E. (2016). Communicating with pet owners about obesity: Roles of the veterinary health care team. *Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice*, 46(5), 899–911. doi: 10.1016/j.cvsm.2016.04.010
10. German, A. J. (2016). Obesity prevention and weight maintenance after loss. *Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice*, 46(5), 913–929. doi: 10.1016/j.cvsm.2016.04.011
11. Colliard, L., Paragon, B. M., Lemuet, B., Bénét, J. J., & Blanchard, G. (2009). Prevalence and risk factors of obesity in an urban population of healthy cats. *Journal of Feline Medicine and Surgery*, 11(2), 135–140. doi: 10.1016/j.jfms.2008.07.002
12. Peron, L., Rahal, S. C., Castilho, M. S., Melchert, A., Vassalo, F. G., Mesquita, L. R., & Kano, W. T. (2016). Owner's perception for detecting feline body condition based on questionnaire and scores. *Topics in Companion Animal Medicine*, 31(3), 122–124. doi: 10.1053/j.tcam.2016.08.008
13. Laflamme, D. P. (2006). Understanding and managing obesity in dogs and cats. *Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice*, 36, 1283–1295.
14. Shepherd, M. (2021). Canine and feline obesity management. *Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice*, 51(3), 653–667. doi: 10.1016/j.cvsm.2021.01.005
15. Stockman, J., Fascetti, A. J., Kass, P. H., & Larsen, J. A. (2013). Evaluation of recipes of home-prepared maintenance diets for dogs. *Journal of the American Veterinary Medical Association*, 242(11), 1500–1505. doi: 10.2460/javma.242.11.1500
16. Webb, T. L., du Plessis, H., Christian, H., Raffan, E., Rohlf, V., & White, G. A. (2020). Understanding obesity among companion dogs: New measures of owner's beliefs and behaviour and associations with body condition scores. *Preventive Veterinary Medicine*, 180, 105029.

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。